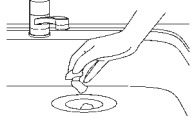
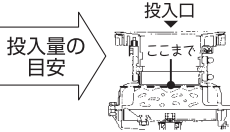


ご使用前に別冊の取扱説明書をよくお読みのうえ正しくお使いください。

1 ディスポーザに生ごみを投入してください。

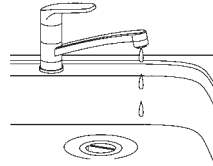


- このとき生ごみを多量に押し込まないようにしてください。下図の投入量の目安をご確認ください。



- ディスポーザでは処理できないものがあります。裏面の投入してはいけないものをよくご確認ください。

5 ジェットフラッシュが終了してディスポーザが停止した後10秒程度経ってから、水栓を閉じて水を止めてください。



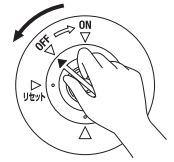
- 排水配管内に破碎した生ごみが堆積するのを防ぐために、運転停止後しばらく追い水をしてください。

2 投入口に蓋スイッチを挿入してください。

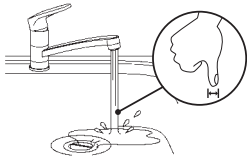


- 蓋スイッチの△印を、投入口の「OFF」の位置に合わせて挿入します。

6 蓋スイッチの△印を「OFF」の位置にあわせてください。

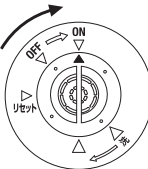


3 水栓を開いて水を流し始めてください。



- 運転中は必ず水を流してください。
- 水量の目安は、親指の太さ程度(毎分8ℓ)です。

4 水を流し始めて5秒程度経ってから、蓋スイッチを右に回して、「ON」にしてください。



- 蓋スイッチの△印が「ON」の位置に合うまで回すと、「ピー」とブザーが鳴ってディスポーザの運転が開始します。

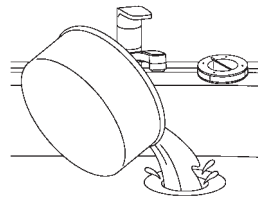
- 生ごみの破碎が終了するとディスポーザは一時停止し、破碎室内に水を溜めてジェットフラッシュ(洗浄)を行います。「ピピピピッ…」とブザーが鳴っている間は破碎室内に水を溜めています。

- ジェットフラッシュが終了すると、「ピーピーピー」とブザーが鳴って、ディスポーザは自動停止します。

注意

運転中に金属音や非常に大きな音がした場合は、ただちに蓋スイッチを「OFF」の位置に合うまで左に回して、運転を停止してください。

8 週に2~3回程度、洗い桶・鍋などに溜めた水を一気に流してください。排水配管を洗浄する効果があります。



- 特に卵の殻を処理した後に流すと効果的です。
- 旅行などで長期間留守にされる際、お出かけの前にも溜めた水を一気に流してください。

注意

溜め水を流す際は、ディスポーザの蓋スイッチを外してください。

配管内イメージ



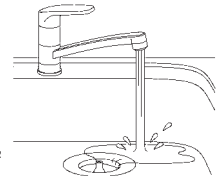
お手入れ方法 (氷洗浄)

1 氷(キューブアイスなど)を5~6個、投入してください。



このとき氷と一緒に台所用中性洗剤・レモン汁・食酢などを数滴、破碎室内へ投入するとより効果的です。

2 水を流しながらディスポーザの運転を行ってください。



ディスポーザで細かく砕かれた氷がシャベット状になって、破碎室内に付着した汚れを洗い流します。

「氷洗浄」によるお手入れを行ってもなお、臭いや汚れが気になる場合は、取扱説明書21~22ページの手順で内部をお掃除してください。

※ディスポーザの破碎室内に異物が入ってしまった場合、取扱説明書16ページの手順で取り除いてください。

投入してはいけないもの (絶対にいけないでください)

下記の物を投入するとディスポーザを破損したり、破砕できずに内部に残ります。
また、排水処理槽での正常な処理が出来なくなります。

金属類

スプーン、フォーク、
王冠など



ガラス類

コップ、
ビンの破片など



陶器類

お皿、
茶碗、箸置きなど



多量の魚や鶏の生皮

生魚の皮、鶏の皮、
タコ・イカ丸ごとなど



貝殻類

カキ、サザエ、アサリ、
シジミなど



高温のもの

熱湯、油、
熱いカレーなど



かたい生ごみ

カニ類の殻、鯛など大きな魚の骨、
かぼちゃ・柿・桃などの固い種、
牛・豚・鳥の大きな骨など



強い繊維質のもの

竹の子の皮、パイナップルの芯・皮、
とうもろこしの皮、栗の皮、玉ねぎの皮、
多量(両手一杯程度)の枝豆の鞘、生花、花の茎など



油、薬品類

多量のマヨネーズ、
多量の油、多量の酸・
アルカリ性洗剤



食品くず以外

割り箸、爪楊枝、ガム、プラスチック、ゴム、紙、ビニール袋、
ラップ、アルミホイル、発泡スチロール、トレイ、キッチンペーパー、
キッチンタオル、ティッシュペーパー、針金、石、砂、タバコの吸い殻など



処理しにくいもの

下記の生ごみは破砕されますが、ディスポーザ内に残ることがあります。

●大きい生ごみ

キャベツ・レタスの大きな葉、グレー
プフルーツ・スイカ・メロン等の皮など。

3cm角程度に細かく切って
投入してください。



●卵の殻

一度に多量の卵の殻を破砕すると、排水配
管内に堆積して詰まりの原因となります。

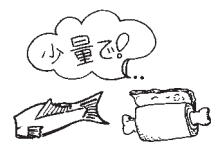
他の生ごみと混ぜて少量ずつ(1~2個
程度)処理してください



●柔らかく弾力のある生ごみ

生魚の皮、鶏の皮、軟骨。

他の生ごみと混ぜて少量ずつ
処理してください



●少量の繊維質の生ごみ

枝豆の鞘(片手に軽く載る程度)など。

他の生ごみと混ぜて少量ずつ
処理してください



※単一生ごみ(米飯のみ、枝豆のみ、卵の殻のみ、茶葉のみなど)を多量に投入しないでください。処理できずに破砕室内に残ったり、排水配管の詰まりの原因になることがあります。

動かなくなったら

生ごみの詰め込みすぎ、または異物のかみ込みにより運転しないこと(ロック)が考えられます。この場合は、過負荷保護装置が作動し「ビビビビビビビビ…」というブザー音(電子音)で知らせます。その時は、取扱説明書17~19ページに従って処置してください。尚、ブザーは蓋スイッチをOFFにすると止まります。

その他に、ディスポーザをご使用中に異常が生じた際は、取扱説明書23~24ページをご覧になり処置方法を試してください。アフターサービスについては、取扱説明書25~26ページをお読みください。
投入できないものを処理したり、取扱説明書に記載以外のご使用方法が原因でディスポーザが故障した場合、修理は有償となります。

ディスポーザに関するお問合せ先

テラル株式会社

テラルコールセンター ☎ 0120-201-844